

〈国語科〉 2年

現在の分析〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・物語や説明文を読むことや漢字の習得、言語活動などに、意欲的に取り組む児童が多い。

〈話す・聞く能力〉

- ・大半の児童は相手の目を見て、話すことはできる。聞く姿勢が定着していない児童もいる。
- ・事柄の順序や理由などを交えながら、話したり聞いたりすることについては、個人差がある。話型を示すと、自信をもって話すことができる児童がほとんどだが、基本の話型に付け足して話すことができる児童は少ない。

〈書く能力〉

- ・はじめ・中・終わりなどの三部構成を意識して書くことに取り組んでいる。

〈読む能力〉

- ・時間や事柄の順序、場面の様子などを読み取る力は定着している児童が多い。
- ・読み取ったことを生かし、声の調子や大きさなどを工夫して、人物や場面の様子を音読で表現することを楽しむことができる。また、その練習に熱心に取り組むことができる。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・漢字のとめ、はね、はらいや筆順に気を付けて書こうとしている。

重点課題

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・自分の気持ちや思いを書き表すことに対する楽しさを感じるとともに、苦手意識を払拭させる。

〈話す・聞く能力〉

- ・自分の考えに自信をもって話すことができるようにする。
- ・言いたいことを、よりよく伝えるための語彙や表現の仕方を身に付けさせる。
- ・話を聞く時の姿勢や態度を意識させる。
- ・友達の考えを受け止め、それに対する自分の考えや感想をもちながら、話を聞くことができるようにする。

〈書く能力〉

- ・「はじめ・中・終わり」の組み立てに気を付け、段落を付けて書くことができるようにする。
- ・文の中に自分の感想や感じたことを書けるようにする。

〈読む能力〉

- ・読み取りの課題に対する答えとなるような大事な言葉や文を、過不足なく落とさずに書き抜くことができるようにする。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・句読点の打ち方や「」の使い方を理解して文章の中で正確に使うことができるようにする。
- ・長音、拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞の「は」「へ」及び「を」を文の中で正しく使うことができるようにする。
- ・語彙を増やす。

授業改善策

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・互いの考えを伝え合うことや、意見を交流することの楽しさが感じられる授業を作る。

〈話す・聞く能力〉

- ・掲示物を活用して、話し方、聞き方のポイントを視覚的に示す。
- ・話型を示すことで、誰もが安心して話すことができるようにする。友達の発言に対する考えや感想を考えながら話を聞くよう指導する。

〈書く能力〉

- ・「はじめ・中・終わり」の組み立てを考え、段落を意識して書くことを指導する。

〈読む能力〉

- ・学習課題を明確にし、大事な文や言葉にサイドラインを引き、読み取る活動を授業の中で行う。
- ・豊かな語彙や想像力、表現力を身に付けることができるよう、読書カードを活用して推進する。

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・「書くって楽しいね」を活用し、正しく書くことに繰り返し取り組ませる。
- ・読書活動や新出漢字の学習場面を活用し、より多くの言葉や表現に触れさせる。

